

男女共同参画へ一歩いっぽ[パ・ザ・パ]

Pas à pas

No.29

2017 OCTOBER

P9 静岡市からのお知らせ

・静岡市女性活躍推進計画
「しずおかわくわくワーク
夢プラン」

策定しました

・内閣府発

「^{はん}“おとう飯”

始めようキャンペーン」
が始まりました！

・男女共同参画情報誌パ・ザ・パ

市民編集スタッフ募集

P10～ 女性活躍応援事業所紹介

男女問わず能力を発揮し、
イキイキと働ける職場環境

株式会社 ハウジーホームズ

P12 静岡市からのお知らせ

しずおか女子きらっ☆
ブランド認定商品 誕生！



P2～ 特集

一歩、踏み出す！



特集



一歩、踏み出す！

誰でも現状を変えるには勇気がいります

一方、それぞれがもつ個性や能力を活かして、希望や夢を叶えている人もいます

進むのに躊躇^{ちゅうちよ}してしまう問題に直面したとき、皆さんはどのように解決していますか？

今悩んでいるあなた

すでに一歩踏み出した方々をヒントにしてみてもいいでしょうか？

「起業」

「女性のキャリアアップ」

「地域活動等への参加」

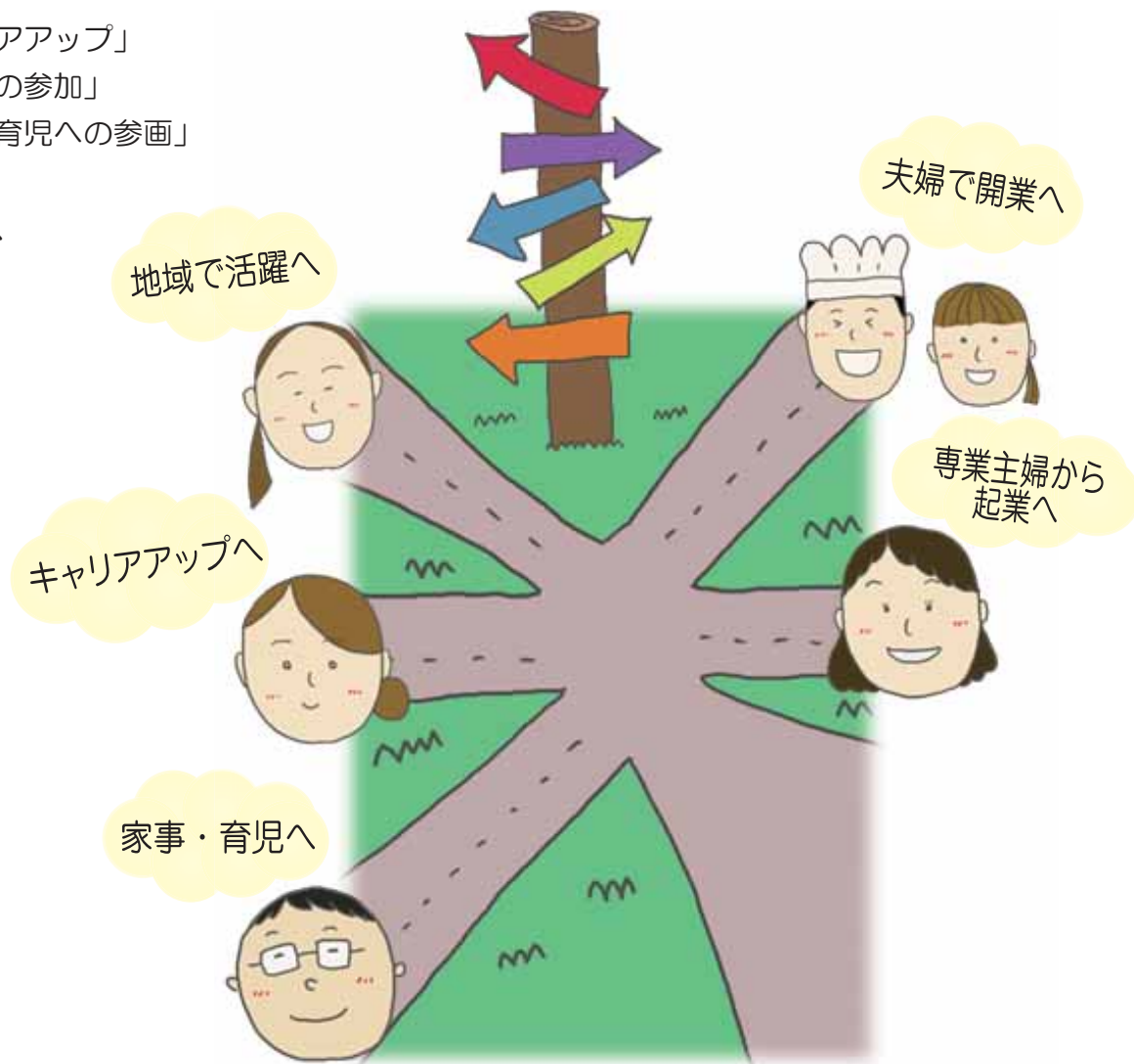
「男性の家事・育児への参画」

かたちは違えど、

様々な一歩を

踏み出した方を

ご紹介します



専業主婦から会社員、そして起業



斉藤 菜穂子さん (45歳)
職業：会社員、個人事業主

2人の子どもは独立し、現在は夫と2人暮らし。会社員として介護福祉士の仕事をする傍ら、昨年個人事業主として介護士のかたにアドバイス等の支援をする会社「ケアラズカンパニー」を設立。

<息抜きポイント！>自宅で料理をすること



コーチングの講師、高野さん（左）と斉藤さん（右）

○コーチングとの出会い

結婚・出産を機に勤めていた事務職を辞めて専業主婦として家庭に入りました。第一子が小学校に入学する頃、ママ友がホームヘルパーとして生き生きと楽しそうに働いているのを目の当たりにし、私もやってみたいと思い立って介護サービス事業所に入社しました。福祉の仕事は、15年目になります。

そして、大きな転機が訪れたのは2年前です。自身の人間関係の悩みをきっかけに、コーチングという対話によって相手の自己実現や目標達成を図る技術を知り、現在コーチングの講師である高野さんとも出会いました。コーチングをとおして自分と向き合い、前向きになれた経験から、同じ福祉の世界で働く人を支えたいと考え、介護士のかたにアドバイス等をするケアラズカンパニーを設立しました。

まだまだ発展途上の会社のため、福祉の仕事の休日を活動にあて両立させています。会社員と個人事業主の両立は大変ではありますが、会社の仲間や家族からの理解もあって、大変さ以上に楽しさややりがいを感じています。

○「一歩踏み出した」ことで

年齢に関係なく目標を持てることに気づき、また目標を達成する喜びを味わえるようになりました。

一方で、起業するには覚悟が必要でしたし、会社を立ち上げたばかりの頃は不安もあり、焦っていました。

そんな私を見て、周りから心配されることもありましたが、自分の決意を伝えることで理解や協力も得られるようになりました。お客様や家族が笑顔になってくれることに幸せを感じ、当たり前なのに感謝できている今が、とても充実しています。

○大切にしていること

まずは自分自身（健康、仕事、生き方）を大切にし

ています。そして、家族、友人、知り合えたすべての人が大切な存在です。人との出会いのお陰で良い影響を受け、様々なことを学び、目標を見つけ前向きに進んでいくことが出来ました。

また、ヘルパーの仕事やコーチングの勉強を始める時、いつも快く後押ししてくれた夫は、私にとって特に大きな存在です。家庭内の家事の協力はもちろん、ビジネス上で行き詰まった時に的確なアドバイスをくれる、同志のような存在です。

○やりがい（意義）を感じる時は・・・

自分の仕事が、お客様の笑顔や喜びにつながったときです。主催するセミナーを受講したお客様から「今日、とてもよかったです！」と言ってもらえた時に、ケアラーを支えたいという自分の夢が少しずつ実現出来ていることを実感し、やりがいを感じます。

★読者の皆様へのメッセージ★

自分ってどんな人だろう、と振り返り考えてみてください。そして、迷った時こそ、自分と向き合う時間を作ってください。自分のことを信じて生きていくことで、楽しい人生が切り開けると思います。



休日に帰省した娘さん（右）と過ごす斉藤さん（左）

転職、そしてキャリアを深める



田呂丸 いくみさん (36歳)
職業：言語聴覚士

夫と子ども（小学生）と3人暮らし。
更なるスキルアップに向けて思い切っ
て勤務先を変え、新しい分野に挑戦
している。

<息抜きポイント！>

休日に子どもとTVを見ながらの朝食前のコーヒータイム、
ハグ、読み聞かせ、子どもの寝姿を見る&寝息を聞く



標準失語症検査を行う田呂丸さん

○転職、そしてキャリアを深める

言語聴覚士（Speech Therapist：以下ST。言葉や聞こえ、飲み込みに難しさのある方のリハビリをする専門職）の仕事がたくて、大学卒業と同時に資格を取得して静岡市内の病院に就職しました。

そのため、娘が生まれた時も「仕事を辞める」という選択肢はなく、産後1年で同じ職場に復帰しました。しかし、言語聴覚療法のスキルをもっと高めたいと考え、別の病院への転職を考え始めました。

当時ST部門の責任者であり、また二人目の出産も考えていたので、転職についてとても悩みました。しかし、夫の「一度しかない人生なんだし、挑戦すればいいんじゃない。」という言葉に背中を押され、転職を決意しました。転職したことで、今まではできなかった難聴の方へのセラピー等、聴覚関係に特化した新しい分野にも挑戦することができました。

また、現在の職場は働くママが多く、職場の仲間の理解も得られるため、必要な時に休暇を取得しやすくなり、前の職場より時間的にも余裕をもつことができました。

○「一歩踏み出した」ことで

仕事では視野が広がり、より深く考えて対応できるようになりました。また、娘のことを考える時間が増え、精神的な余裕も少し出てきました。

ただ、家事に割く時間が短かったり、県外にいるお互いの実家にはすぐに頼ることもできないため、娘を一人にしなくてはいけない時間があることは変わらず悩みです。

○両立のために工夫していること

夫と協力しながら家事・育児をしています。洗濯はほぼ夫が担当で、私が土日に研修がある時などは喜ん

で娘と2人で過ごしているようです。

私も週末に料理をできるだけ作り置きしたり、仕事の区切りを決めて早く帰宅するようにしています。

できないときも深く考えず、目の前のことをやるしかない、頑張れるところまで頑張りたい、と思っています。

○やりがい（意義）を感じるときは…

やはり患者さんと関わる中でよい結果が見えたり、幼い患者さんに成長が見られたりするとやりがいを感じます。仕事で視野が広がり、今までと違った目線で物事を見られるようになったため、興味や好奇心もどんどん広がっています。

最近娘がSTになりたい、と言ってくれたのも仕事での頑張りを見てくれているのだなと、とても嬉しかったです。

★読者の皆様へのメッセージ★

家庭や職場の理解を得ながら周りを巻き込んでいくと上手くいかなと思います。私自身もハイペースになってしまうときもありますが、無理せずマイペースにいけるといいですね。



娘さん（右）と読書する田呂丸さん（左）

地域活動やボランティア活動等に取り組む



清水 久美子さん (41歳)

職業：主婦

夫と子ども3人(小学生と中学生)の5人暮らし。子育ての悩みを相談した先輩ママの活躍を目の当たりにしたことをきっかけに、地域活動やPTA活動等、様々な活動に取り組むようになった。

<息抜きポイント！>犬の散歩、体を動かす



地元の中学校で読み聞かせをする清水さん(中央)

○地域の子ども達に貢献したい

家庭を優先し、第一子誕生を機に退職をしたものの、家庭一筋の生活を選択したことに悩んだ時期がありました。そんな時、知り合いだった先輩ママが、子育てイベントやママサロン等を開催し、生き生きと活躍している姿に感銘を受けました。

これをきっかけに、私も自分の子どもだけでなく、沢山の子ども達の成長も見守りたい、その為に知識やスキルを身につけたいと思い始めました。それからNPO法人あそび子育て研究協会のインストラクター資格や保育士資格を修得し、静岡市養育支援訪問員や、子育てトークの会等、幅広く活動しています。

また、子どもが学校等へ行っている時間を使って地域活動にも積極的に参加しています。特に、読み聞かせは地域の子ども園や小中学校を回っているので、地域の子ども達の成長を見ることができ、とても楽しく活動しています。

将来は児童クラブ指導員等、経験を活かせる仕事に就きたいと考えており、今は様々な活動の中でたくさんの経験をさせてもらっているところです。

○「一歩踏み出した」ことで

自分の子どもだけではなく、地域の子どもも大切に思う事が出来るようになりました。また、母としての目線を活かして活動しつつも、子育てをする「母」だけではない一人としての「私」を自覚できるようになりました。

時間調整に苦労することもあります。地域活動を通じて良い仲間に出会い、そして楽しい時間を過ごしているのは、夫も子ども達も認めてくれているからです。そんな家族への感謝の気持ちを忘れずにいようと心がけています。

○優先順位や両立のために工夫していること

子ども達がいる時は子ども達との時間にしています。

子ども達も私の活動を見て理解してくれており、できることは自分でやったり、兄妹で助け合いながらやれることはやってくれています。そんな家族の協力もあって、忙しいけれども楽しくやっています。

○やりがい(意義)を感じる時は…

子育て支援の活動の中で子ども達みんなの笑顔が見られたり、子ども達が素直な反応を示してくれた時、自分のやりたかった活動ができていると実感できます。

★読者の皆様へのメッセージ★

踏み出すきっかけやタイミングは一度きりではなく沢山あるので、自分の丁度良いタイミングとやり方で一歩を踏み出せば良いと思います。

自分は今どうしたいのかを考え、家庭や子育てをメインにしたいならそれを受け入れてくれる社会であって欲しいし、働きたい人は思いっきり働けるような環境も大事だと思っています。



息子さん(右)と一緒に食事の支度をする清水さん(左)

静岡市で起業し、積極的に家事や子育てに参加



深澤 智行さん (46歳)

職業：パン販売、製造

妻と子ども3人(小学生と中学生)の5人暮らし。ブンパニックル*を食べた時の衝撃をきっかけに、子育てしやすい静岡市で自分のお店「ベッカライ・レッシュェルン」を開店。

※ドイツ発祥の伝統的な食事パン

<息抜きポイント！>

走る、寝る、お酒や美味しいものを楽しむ



パンを製造する智行さん

○パン作り

パン作りの道に進んだのは、30歳の時です。会社員を経て、磐田市で家業の化粧品販売業を継いでいましたが、ライ麦で作るドイツパンがとにかく好きになり、こんなパンを作りたいと思って浜松のパン屋に就職しました。その後も浜松や東京のホテルや個人店で修行を積み、39歳の時、静岡市に念願の自分のお店を開店したのです。

修行時代に、双子の長男と次男、そして末娘が誕生しましたので、開業にあたっては家族との生活も考慮し、二人で協力して子育てができるように、静岡市に自宅兼店舗を建てようと考えました。

厨房からは自宅のリビングが見えるため、仕事の合間に家事をこなしたり、例えば子どもが風邪を引いて休んでいる時も、妻と交代で子どもの様子を見に行くことができます。

○「一歩踏み出した」ことで

子育てや家事等の生活と仕事のバランスがとれるようになり、それぞれがスムーズに行えるようになりました。

自営業でひとつ大変なのは、子どもの行事や大会に夫婦二人で行けない時があることですね。

○工夫していることや大切にしていること

子ども部屋の掃除や衣類の整理等、できることは子ども達自身でやるように言い聞かせています。子ども部屋がどんな状態になっても私達は手を貸しません。

家族で大切にしていることは走ることです。最初は息子たちが毎朝走るようになり、彼らを見て、妻が娘と走り始め、それを見て私も走ってみました。

皆で同じコースを走っていると、共通の会話が生まれるので、私たち家族にとって生活の大事な一部分になっています。

○やりがい(意義)を感じる時は…

「おいしい」と言っていただいた時や、いつものお客様に来店していただいた時です。

パンは軽食のイメージが強いですが、夕食にも食べられるようなパンを今後も提供し、粉と水と塩、酵母だけで作ったシンプルかつ奥深いパンの魅力を伝えていきたいと考えています。

○妻・充子さんから(そばで一緒にふみだして)

店頭に立ち、接客や販売を担当しています。

香ばしくて味わいあるドイツパンが私も好きでしたから、やりたいことに挑戦しようという夫と共に踏み出すことができました。

今は仕事の合間に用事等を済ませられ、ストレスがありません。3人の子育ても私一人では手に負えないですが、自宅で起業したお陰で、子育ての不安や負担を夫婦でより分かち合えるのだと思います。

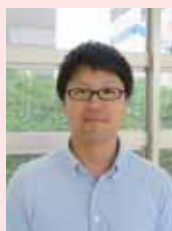
★読者の皆様へのメッセージ★

よく考えて行動することは大事ですが、考えすぎても動けなくなってしまうので、自分のやりたいことを信じて進むと良いと思います。



深澤さんご一家

家事、そして育児に積極的に取り組む



山本 良さん (29歳)

職業：公務員

専業主婦の妻と子ども2人(3歳と1歳)の4人暮らし。第一子の誕生をきっかけに、育児に積極的に取り組み、家事も今まで以上に取り組むようになった。

<息抜きポイント！>

毎週水曜日定時終了後に行う職場の仲間でのランニング



関係する法律を勉強する山本さん

○わが子の誕生

子どもが生まれるまで、仕事をしたいときには仕事をし、自分の時間として学生時代から続けていたハンドボールにもたくさん参加していました。結婚・妊娠を機に妻が仕事を辞めたこともあり、家事は主に妻に任せ、私はたまに手伝う程度でした。

そんな時、第一子が生まれたことで生活がガラリと変わりました。驚くほど家庭内が忙しく、妻ばかりに家事や育児を任せきりにしてはいけなかったと思います。

家事では、料理は挑戦してもうまくできず、その分、洗濯や掃除を頑張りました。育児では、オムツ替えや入浴、離乳食を食べさせる等、出来ることは積極的にやっています。

家族で一緒にいる時間を作ろうと努力するようになったことも、自分の中で大きく変わったことだと思います。

○「一歩踏み出した」ことで

積極的に家事や育児に関わることで、自然と家族との時間を持てるようになりました。入浴中に子どもと何気ない会話をしたり、子どもが「はいはい」や「つかまり立ち」等、何かが初めてできた時に立ち会うこともできました。そんな子どもの成長が、妻との共通の話題となり、会話も増えました。また、家族で出かけることも増え、家族での思い出も増えています。

一方、家事や育児に参加することで、以前よりも自分の時間が持てないときもあります。しかし、私以上に妻のほうが自分の時間を家族のために費やしてくれているので、出来るだけ妻が自分の時間を持てるように努力しています。

○優先順位や両立のために工夫していること

家族が何より大事です。仕事も家族がいるからこそ

頑張っています。

仕事について、もともと「明日できることは明日やる」を心がけていました。子どもが生まれてからは、今までよりも優先順位を考えて仕事をするので、余分な時間外業務をせず、家族との時間を作るようにしています。

任せられた仕事を業務時間内で責任を持って全うすることで、仕事でも家庭でも有意義な時間を過ごせるようになりました。

○やりがい(意義)を感じる時は…

家事をやって妻が喜んでくれた時、進んで家事をやったよかったなと感じます。

また、子どもが私と遊んでいて楽しそうにしている時や、伝えた内容を理解し注意して行動するようになった時には、育児にも積極的に関わって良かったと思います。

★読者の皆様へのメッセージ★

大変な時は誰にでもあると思いますが、乗り越えればきっと良いことがあると思っています。

私の場合、自分のしたことで妻が喜んでくれたり、子どもがなついてくれたりしました。まだまだ私もこれからですが、家事や育児に奮闘している皆さん、お互いに頑張っていきましょう。



休日に公園で二人の子ども(真ん中と下)と遊ぶ山本さん(上)

私が一歩踏み出すために利用しました

今号のインタビューに協力して下さった方々のおすすめ機関を紹介します。

相談

静岡市女性会館

【Jo-shizu メンターバンク】

※メンター…経験談やアドバイスを話してくれる“身近な先輩女性”のこと

「Jo-Shizuメンターバンク」は、仕事、起業、社会活動、結婚、子育て、介護など、様々な分野での経験を持つメンターが登録されている人材データベースです。

<https://joshizu.aicel21.jp/>

TEL : 054-248-7330

▶▶▶ 悩むときに相談できる制度があるのは心強いです。制度の趣旨に共感し、私自身がメンターとして登録しています。斉藤菜穂子さん

一時保育

【ファミリー・サポート・センター】

<http://shizu-kosodate.com/famisapo/>

静岡：葵区呉服町2丁目1-1 札の辻ビル3階

TEL : 054-254-2283

清水：清水区島崎町223 清水テルサ1階

TEL : 054-355-3333

▶▶▶ 第2子が生まれた時、産後の妻はあまり体調が良くなく、その時に初めて利用しました。一時保育や送り迎え等を頼んだり、休日少し預けることができたため、仕事にも支障なく行くことができました。山本良さん

子育てサークル

【NPO法人あそび子育て研究協会】

<http://www.geocities.co.jp/asobiken05/>

▶▶▶ 子育てに関する講座や悩みを話し合う場があり、不安を解消することができました。

清水久美子さん

【NPO法人よしよし】

<http://www.yoshiyoshi-bm.com/>

▶▶▶ 親子向けの講座やイベントがあり、パパママ同士交流を深めることができます。代表の方にも双子のお子さんがいるご縁で、引越してきたときから良くしていただき、静岡での子育てが楽しめるようになりました。

深澤智行さん・充子さん

【葵病児・病後児保育室「輝き」】

葵区東草深町8-18 小児科いよいよやま医院2階

TEL : 054-247-8150

【駿河病児・病後児保育室「こうのとりのこ」】

駿河区敷地一丁目22-23 高松めばえ保育園内

TEL : 054-204-3737

【清水病児・病後児保育室「虹いろ」】

清水区天神一丁目11-15 清水待機児童園2階

TEL : 054-363-0899

▶▶▶ 夫婦とも実家が県外のため、病気のときに預かってもらえました。私も夫も仕事を休まず出勤でき、とても助かりました。田呂丸いずみさん

市民編集スタッフ 編集後記

● 小針 幸子さん ●

一歩を踏み出し今まさに歩き続けている方々は、とてもパワフルで輝いている素敵なお方々でした。一歩は大きな一歩でなくても良くて、小さな事の積み重ねで道を創っていく、その先には違う世界があるのだと感じました。誰かの為に何かをしたい、その思いは実は自分自身の人生を彩り確実に足跡を残していくことなんだと感じました。まずは、自分自身と向き合っていきたいと思いました。

● 比留間 真紀さん ●

「これが好き」「これがやりたい」という「これ」を見つけることが大事だなと思いました。今の私を再考してみると、「これ」が幾つかあり、中には「好きだけど」「やりたいけど」と足踏みしている項目もあります（特に働くこと）。今回取材した方々が持っている家庭とのバランス感覚は是非見習いたいものです。

● 船木 知佳さん ●

一歩を踏み出した方々は『自分はこれがしたい!』という強い決心を持って信じる道を進んでいらっしゃいました。私自身、1年半前、子供の幼稚園入園を機に仕事を再開しました。今回インタビューした皆様と比べるとまだまだ小さな一歩ではありますが、これからも自分らしい生き方を探り挑戦していきたいです。

● 横山 由馨さん ●

何か新しいことを始める時、それは自分のためだけに、でも決して自分のためだけではない。だからこそ、その新しいことに踏み出し、進んでいけるのだと思いました。大切にしたいものはその時々で変わっていくでしょうが、今、この時、大切にしたいものは何かを考え、自分にできることから始めていけば、自分を生かせる場所・活躍できる場所が見つかるのではないかと思います。

静岡市女性活躍推進計画「しずおか わくわくワーク夢プラン」を策定しました

静岡市では、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく市町村計画として「静岡市女性活躍推進計画（平成29～34年）」を策定しました。

基本目標の実現に向けて、市民・事業者・行政が連携して取組を推進していきます。市民の皆様の御理解と御協力をお願いします。

☆目指す姿☆

女性の“活躍したい”希望がかなうまち しずおか

☆基本目標及び施策の方向性☆

※は静岡市が重点的に取り組む事業です。

1. 女性の職業生活における活躍を推進するための支援措置

- (1) 女性の職業生活における活躍の推進に取り組む企業に対するインセンティブの付与等
女性活躍ブランド認定
女性活躍応援事業所表彰 等
- (2) 希望に応じた多様な働き方の実現に向けた支援措置 ※
女性ロールモデルの紹介
キャリア相談の実施 等
- (3) 情報の収集・整理・提供及び啓発活動
労働に関する実態調査
国・県と連携した事業所への情報提供 等

2. 職業生活と家庭生活の両立を図るために必要な環境の整備

- (1) 経営者・管理職、男性の意識と職場風土の改革 ※
男性のための家事・育児・介護等の実践講座の開催
男性向け相談事業の実施 等
- (2) 職業生活と家庭生活の両立のための環境整備
多様な保育サービスの提供
放課後児童クラブの運営 等
- (3) ハラスメントのない職場の実現
企業・団体等を対象とした出前講座等の実施 等

内閣府発「^{はん}“おとう飯”始めよう」キャンペーンが始まりました！

日本の平均家事時間 夫：67分 妻：461分

男性が料理をすることについては、知識や技術がなくて自分には作れない、家族のために作る料理は栄養バランスや盛り付けなどに気をつかい立派でなければいけない、料理を作ってみたものの家族に不評だったため作るのをやめてしまった等、技術的、心理的ハードルがあると言われています。

そこで、内閣府は男性の料理参画への第一歩として、簡単で手間を掛けず、多少見た目が悪くても美味しい料理を「おとう飯」と命名しました。全国で、アイデアレシピコンテストや料理教室等、様々な取組が始まっています。

キャンペーン実施の背景には男性の家事・育児参加の短さがあり、内閣府によると6歳以上の子を持つ夫の家事・育児参加時間が67分（妻461分）と大きな差があります。静岡市でも「暮らし方」を変える男性の料理参画を推進します。



カジダン・イクメンフォートコンテスト優秀賞作品

男女共同参画情報誌パ・ザ・パ 市民編集スタッフ募集！

静岡市では、市民の意見を反映した男女共同参画情報誌を作成するため、企画編集、取材、記事作成、レイアウト等を行う市民編集スタッフを募集しています。

○任期

1年（4月から翌年3月）

○編集会議及び謝金

年14回程度（主に平日昼間）
会議1回出席につき、2,000円

○応募資格

男女共同参画情報誌作成に興味がある市内在住、通勤、通学の18歳以上のかた

○お問い合わせ

市民局男女参画・多文化共生課

TEL: 054-221-1349

E-mail: sankaku@city.shizuoka.lg.jp

※平成30年3月から募集を開始します。

詳しくは静岡市ホームページをご覧ください

男女問わず能力を発揮し、 イキイキと働ける職場環境

— 株式会社ハウジーホームズ —

今回は、平成28年度静岡県女性の活躍応援事業所表彰において大賞を受賞された「株式会社ハウジーホームズ」常務取締役 永峰節子 様にお話を伺いました。



ハウジーホームズとは

「株式会社ハウジーホームズ」は、お客様が納得のいく品質で、注文住宅・戸建分譲住宅を建築する、静岡県内で幅広く展開するハウスメーカーです。

さらに、不動産部門もあり、仲介業務から土地・建築販売業務までしっかりとサポートするプロ集団です。



女性管理職の比率38.9%※！

建築業界では、基本男性で、女性の姿は見られませんでした。しかし、ハウジーホームズでは性別による差は関係なく、個人のチカラを重視しています。他社と比べても、新規採用の段階から女性を多く採用しています。

「男女問わず能力を評価し、管理を任せたい」という強い思いがあり、常務取締役、展示場営業チーム、営業マネージャーも女性が務めるなど女性の活躍の場が多く、店長クラスが全員女性だったこともあります。現在、係長代理以上の管理職の比率は男性11名に対し、女性は7名と高い比率を誇っています。

家を作るにあたり、家の詳細部分には女性の意見が多く反映されているなど感じています。その際、同じ目線に立って考えられる女性は、施主様から喜ばれることも多く、会社にとっても大きな戦力となっています。

※国の目標として、社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度としています。(内閣府男女共同参画局HPより)

女性の視点をいかした商品開発

現場や実体験から、家を作るにあたって、家事の多くを担う女性の視点は欠かせないものだと考え、実際にママである女性スタッフを中心にプロジェクトチームを立ち上げました。

ちょっとした収納を設けるなどの使いやすさの工夫、子どもを意識した家事動線など、女性スタッフの意見を企画・提案に取り入れた、子育てママをターゲットにした注文住宅「ママエール」が生まれました。「ママエール」はママ達の心を掴み、ヒット商品となっています。

また、自分たちの意見を積極的に取り入れて生まれた商品が、多くのお客様に受け入れられたことは、女性社員のモチベーションUPにも繋がりました。

子育て中社員へのフォローと支援

2017年現在、育休者は3人。20～30代の社員が約5割を占め、子育てママが多く働いているのが特徴です。

妊娠中・子育て中は本人の負担を考慮し負担を軽減できる部署への配属を認めたり、スムーズに復帰できるよう育児休業中でも面談の機会を設けたり、手厚い支援を行っています。

子育てをする期間というのは、誰にとっても大切な時期なので、会社のほうが融通してあげなければいけないと思っています。

人がイキイキと働いていることが何よりも大事

マイホームは、人間性を家族で「育てる」ことができたり、親から子どもへ気持ちを「伝える」大切な場所です。私たちは「スキンシップの取り方」や「思い出づくり」といった、住み方の提案もしていきたいと思っています。

また、地元である静岡で足場を固め、子育てをする若い人たちを応援する体制を整えていきたいです。

そのためには、まず自分たちが男女問わずに、目標を持ってイキイキと行動していなければいけないと思っています。



《社員の声》

企画事業部 孫 麗娜 さん
入社年数/2013年入社
家族構成/夫、子(2才)

出産後にも育児と仕事の両立ができればいいなと思い、昨年の4月に復帰しました。復帰後の新しい部署は全然知らない分野だったので、最初はとても不安でした。その際には、会社の皆さんから「お帰り」と温かく迎え入れていただきました。

復帰後は子どもの体調によって、急に休みをしなければならないことが多いと予想されるため、優先順位をつけて作業することを心がけました。

しかし、急に休む時もあり、上司や同僚がフォローしてくれました。その結果、仕事の成果もだんだん見えてくるようになり、今ではとてもやりがいのある仕事だと思っています。

また、子育てママが多く働いている会社ですので、育児の悩みも相談できるとても心強い職場です。



ママエール展示場
(SBSマイホームセンター静岡展示場)

株式会社ハウジーホームズ

- 事業内容：建築・不動産
- 所在地：〒420-0876
静岡県静岡市葵区平和1-15-33
- 電話番号：054-252-3161 (代表)
- 従業員数：91名 (男性61名、女性30名)
正社員88名 パート3名
- ホームページ：<http://www.houjy.co.jp/>

しずおか女子きらっ☆ブランド認定商品誕生!



第1回認定審査において、次の4商品を認定しました

静岡市では、女性が企画・開発に貢献した商品を募集・審査の上、その中から先駆的で優れたものを「しずおか女子きらっ☆ブランド」に認定します。

認定商品は、女性活躍の好事例として広報誌やホームページ等、様々な方法でPR協力します。(詳しくは「しずおか女子きらっ☆ブランド認定」を検索)

サラダをおいしく食べるお塩

ドレッシングの代わりにサラダにふりかけて使用する味付け塩です。常温保存可能な小分け使いきりタイプ。梅しそ風味、イタリアン風味、レモン風味、ごまだれ風味のアソートパックです。開発部主任・江川芳美さんが中心となって開発した商品です。

ニチフリ食品株式会社

☎054-388-2211

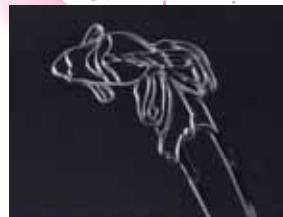


KANZASHI

ステンレスの質感を生かした、洗練されたデザインのかんざしです。加工が難しいとされる耐久性の高い工業用高品質ステンレスを、板金屋ならではの技術により繊細なデザインを実現しました。山崎かおりさんが代表を務めるほか、板金女子チームも活躍しています。

三代目板金屋(株式会社山崎製作所)

☎054-345-2186



女性限定の宿泊プラン

「RA・SHI・KU」

近年の女性のビジネス出張増加を受け、宿泊部主任の高原智子さんを中心に女性プロジェクトチームが考案した「女性のための理想の宿泊プラン」です。ホテル特製の砂糖不使用アイスクリームや充実のレディースアメニティのほか、朝食には「桜海老のビスク」を特別提供など、うれしい特典がいっぱい!

ホテルクエスト清水(株式会社竹屋旅館)

☎054-366-7101



ベビー用スリング

「キュットミー!」

代表取締役の園田正世さんがアメリカから個人輸入したところから始まり、その後完全日本製に移行。通気性・速乾性に優れたオリジナルの布を企画・製織し、ネット販売のほか、高島屋など全国の百貨店約40店で取扱われており、多くの医療機関でも採用・販売されています。2015年からはシンガポールにも輸出しています。

北極しろくま堂有限会社

☎054-653-4700



パ・ザ・パ29号へのご意見・ご感想をお寄せください。

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市市民局男女共同参画・多文化共生課
TEL: 054-221-1349 FAX: 054-221-1782 Eメール: sankaku@city.shizuoka.lg.jp